



FUN FOR THE FUTURE!



株式会社バンダイナムコホールディングス
URL: www.bandainamco.co.jp/
発行日 2017年8月

©BANDAI
Printed in Japan

バンダイナムコグループのCSR活動 2017

FUN FOR THE FUTURE!

楽しみながら、楽しい未来へ。

エンターテインメントが社会に対してできること、それは、心が心を響かせて楽しい未来をつくることです。バンダイナムコグループは「夢・遊び・感動」をお届けする企業として、地球環境や社会とのかかわりについて、「Fun For the Future! 楽しみながら、楽しい未来へ。」を合言葉に、社会とステークホルダーのよろこびにつながる活動を推進し、楽しい未来づくりに貢献していきたいと思えます。



CONTENTS

3 トップメッセージ

7 特集：楽しい未来づくりに向けたさまざまな取り組み

-  安全・安心に関する取り組み
-  エコに関する取り組み
-  ユニバーサルデザインに関する取り組み

35 CSR 学習活動

37 社会貢献活動

39 会社情報ほか

41 バンダイナムコグループのCSR活動2017 WEB版のご案内

株式会社バンダイナムコホールディングス
代表取締役会長
石川 祝男



株式会社バンダイナムコホールディングス
代表取締役社長
田口 三昭



**「夢・遊び・感動」をお届けする
使命に誇りと責任を持ち、
楽しみながら、楽しい未来を
つくる活動に取り組んでいきます。**

バンダイナムコグループでは、2015年4月からの3か年中期計画のビジョン「NEXT STAGE 挑戦・成長・進化」のもと、グループ最大の強みである「IP軸戦略」に基づき、幅広い事業領域で商品・サービスを展開しています。さらに、社会とのかかわりにおいては、「Fun For the Future! 楽しみながら、楽しい未来へ。」をコンセプトに掲げ、CSR活動に取り組んでいます。

私たちの仕事は、一人ひとりの心の中に生まれた「夢・遊び・感動」のアイデアを、大勢の手でカタチにして、一人ひとりのお客様の心に響かせることです。そして、その「夢・遊び・感動」は人の心を癒し、励まし、世界に広がることで世の中を変えることも、未来を変えることもできると信じています。

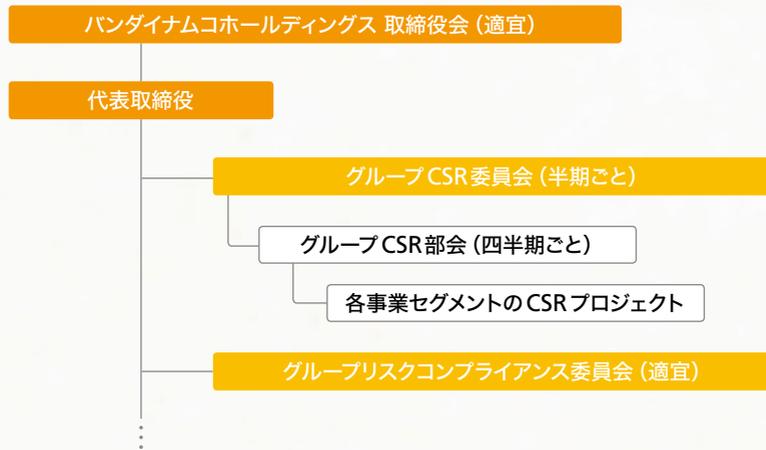
「IP軸戦略」とは

幅広い事業領域を生かし、最適なタイミングで、最適な地域へ、最適な商品・サービスとして提供していくことで、IP (Intellectual Property : キャラクターなどの知的財産のこと) の価値最大化を図る、バンダイナムコグループ最大の強みです。

バンダイナムコグループでは、(株)バンダイナムコホールディングスおよび各事業セグメント主幹会社の社長とCSR担当役員らでグループCSR委員会を構成し、スピード感を持って実行するとともに、事業と一体となったCSR活動を推進しています。さらに、その下部組織としてグループCSR部会を設置し、各社のCSR活動に関する取り組みの情報共有・意見交換を深めています。

特に重点的に取り組む必要があるテーマを「バンダイナムコグループのCSR重要項目」とし、また、各事業セグメントの活動レベルに落とし込んだ「CSR重点取り組みテーマ」を策定して、各事業の特性を生かした活動に取り組んでいます。本冊子では、その取り組み事例の一部をご紹介します。是非ご一読ください。

バンダイナムコグループのCSR推進体制



◀ グループCSR委員会の様子

バンダイナムコグループのCSR方針

ミッション

「夢・遊び・感動」

CSRコンセプト

Fun For the Future!

楽しみながら、楽しい未来へ。

CSRへの取り組み

- ① 環境・社会貢献的責任
- ② 経済的責任
- ③ 法的・倫理的責任

コンプライアンス憲章

「適正な商品サービス・公正な取引、社員尊重、情報開示、知的財産の尊重・活用、情報・財産の保全、反社会的勢力の拒絶、環境との調和、社会との調和」に関する原則。

バンダイナムコグループのCSR重要項目

①

商品・サービスの安全と衛生

私たちがお届けする「夢・遊び・感動」の基盤となる商品・サービスの安全と衛生の向上について、最優先に努めていきます。

②

環境配慮

「夢・遊び・感動」を次の時代につなげるために、地球環境に配慮し、企業活動におけるエネルギー削減や商品・サービスにおける省資源化に努めていきます。

③

コンテンツや商品の表現における社会への影響とポリシー

世界中の人々へ「夢・遊び・感動」をお届けするため、「表現の自由」の尊重とともに、多様なコンテンツや商品を適切にお客様にお届けするよう努めていきます。

④

サプライチェーン管理

私たちがお届けする「夢・遊び・感動」の質的向上のために、それぞれの事業に対応したサプライチェーンの管理向上に努めていきます。

各事業セグメント・関連事業会社で、重点取り組みテーマを掲げ、事業を通してグループCSR重要項目に沿った活動を推進しています。

楽しい未来づくりに向けた さまざまな取り組み

バンダイナムコグループではエンターテインメントにかかわる多彩な商品・サービスを展開しています。ここでは、それぞれの商品・サービスに込められた、未来づくりのためのさまざまな取り組みを、3つのテーマからご紹介します。

グループ組織体制

バンダイナムコグループは、事業セグメントごとに、3つの戦略ビジネスユニット (SBU) と、それらを主にサポートする役割を持つ関連事業会社で構成されています。



(株)バンダイナムコ
ホールディングス

トイホビー SBU
(主幹会社：(株)バンダイ)

ネットワークエンターテインメント SBU
(主幹会社：(株)バンダイナムコエンターテインメント)

映像音楽プロデュース SBU
(主幹会社：バンダイビジュアル(株))

関連事業会社



Safety & Security

安全・安心

に関する取り組み

P9



Ecology

エコ

に関する取り組み

P19



Universal Design

ユニバーサル デザイン

に関する取り組み

P29



©ABC-A・東映アニメーション
©2016 石森プロ・テレビ朝日・ADK・東映
©BANDAI NAMCO Entertainment Inc.
©2014-2015 杉浦日向子・MS.HS / 「百日紅」製作委員会
©2017 テレビ朝日・東映AG・東映
©やなせたかし/フレーベル館・TMS・NTV
TM&© Othello, Co.and MegaHouse

おもちゃの安全・安心

(株)バンダイでは、「安全で安心できる商品づくりに徹し、世界中のお客様から信頼と満足を得られる商品を提供すること」を方針に掲げ、品質の維持・向上に取り組んでいます。

おもちゃの検査①

安全性や耐久性などを確認するため、約370の検査項目の中から、それぞれのおもちゃの特性に応じた検査を行っています。

宇宙戦隊キュウレンジャー 9段変形 DXキューザウェポン

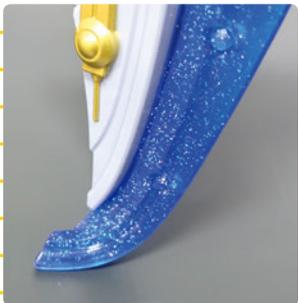
溶出検査

なめても身体に害が出ないように、水銀などの金属が入っていないかを検査



素材検査

当たってもケガをしないように、先端の素材が柔らかいかどうかを検査



キラキラ☆プリキュアアラモード まぜまぜ変身!スイーツパクトDX

大きさ・形状検査

誤って飲み込んでしまった時に、のどに詰まらないように、部品の大きさや形状を検査



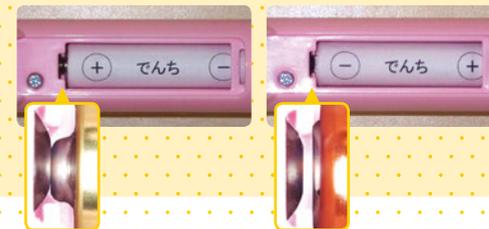
音量検査

効果音が大きすぎないように、音量を検査



Check!

発熱して火傷をしないように、電池を逆に入れても電気が流れないかを検査



おもちゃの
検査②

法律や業界の品質・安全基準を踏まえて、より厳しい自社の品質基準を設定し、さまざまな試験を行っています。

Check!

ボタンの
耐久性試験



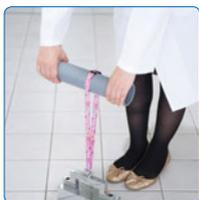
Check!

おもちゃを
落下させる衝撃試験



Check!

ストラップの
耐久性試験



おもちゃの
表示

安全に安心して遊べるように、守っていただきたいことを警告や注意表示としてパッケージに表示しています。

パッケージ表示例



Point 1

対象年齢

安全に安心して遊べるように、おもちゃの対象年齢を表示

たいしょうねん れい さい い しょう
対象年齢 3才以上

Point 2

STマーク

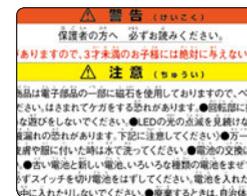
一般社団法人日本玩具協会の「おもちゃ安全基準」に合格したおもちゃには、パッケージに「ST」マークを表示



Point 4

警告・注意表示

ケガなどをしないように、特に気を付けるべき項目を目立つように表示



Point 3

ピクトグラム

子どもでも危険が一目で分かるように、絵や記号・マークを使って表示



[VOICE] 担当者の声



(株)バンダイでは、商品・サービスに対する徹底した安全性の追求や品質向上に取り組んでいます。業界が定める玩具の安全基準「ST (Safety Toy) 基準」だけでなく、バンダイ独自の基準で、多岐にわたる商品ごとに子どもの誤使用や幅広いニーズを想定した検査を実施しています。お客様の笑顔を守る!という信念を持ち、信頼と満足を得られるように、今後も品質保証業務にあたっております。

部谷 まなほ (へや まなほ)

株式会社バンダイ

プロダクトマネジメント部 品質保証トイチーム QA担当

安全・安心に関する取り組み

ゲームの安全・安心

(株)バンダイナムコエンターテインメントでは、ゲームの「楽しさ」を追求すると同時に、お客様に安心して安全に遊んでいただけるよう、取り組みを推進しています。

業務用ゲームの取り組み事例

お客様をはじめ製品にかかわるすべての方の安全性を確保するため、開発、生産、品質保証、サービスなどさまざまな部署による安全性検証 (Safety Review) を実施しています。



太鼓の達人
イエロー Ver.▶

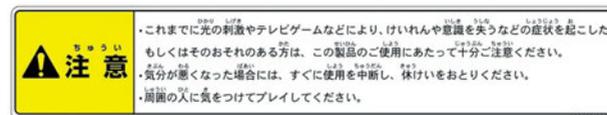
Point 1

周囲の方々にも配慮しながら、安心して安全に遊んでいただけるよう、プレイ前に分かりやすくイラスト付きの注意書きを画面に表示しています。



Point 2

光感受性発作への対策として、社内ガイドラインを定め、安全な製品開発をするとともに、お客様に対し下図のような注意喚起を促す表示を行っています。



▲ 注意書きをゲーム機に掲示

TOPIC

新たな取り組み

VR (バーチャル・リアリティ：仮想現実) 技術

最新のVR技術の分野においても、社内でVRアクティビティを制作する際に配慮すべき事項の検証を行うなど、新しいエンターテインメントをお客様にお楽しみいただけるよう取り組みを進めています。

安全性検証の様子▶



安全・安心に関する取り組み

アミューズメント施設 次世代型屋内アスレチック施設

「TONDEMI」の安全・安心

(株)ナムコが、2017年4月にオープンした次世代型屋内アスレチック施設「TONDEMI (トンデミ)」では、安全に安心して楽しんでいただけるよう、さまざまな取り組みを進めています。

SPACE ATHLETIC TONDEMIとは？
ナムコが新たに開発した次世代型屋内アスレチック施設で、ファミリーやグループみんなで楽しめる“体汗”型の遊びを集めた施設です。

ロープウォーク



ハラハラドキドキのロープアクティビティ。落下しない構造のハーネスを装着して、高所を渡るスリルを安全に体験できます。



装着したロープを一度も外すことなくゴールまでたどり着けるよう、一筆書きのコースになっています。



1本でも1トン以上の重さに耐えられるロープを2本装着することで、より安全に安心して遊べます。

クライミングウォール



大人から子どもまで気軽に楽しめるクライミングウォールエリア。減速装置付きのロープを装着し、安全にクライミングを楽しむことができます。

手を放してしまったりして落下したときに、ハーネスを自動で巻き上げる自動減速装置が付いています。



トランポリンでは、危険性の高い動き(宙返りなど)を禁止しています。



遊具には、金属部分に触れないような工夫を徹底的に施しています。



国内最大級の規模を誇るトランポリンエリア。さまざまなゾーンを設け、トランポリンの楽しさを最大限に体感できます。

VOICE 担当者の声

私は、TONDEMIの運営責任者を務めています。接客にあたっては、お客様に楽しんでいただけることを心がけていますが、そのためには、安全・安心の確保が何よりも重要です。日々の安全点検はもちろん、施設のオープン前に、私を含めスタッフが体操施設で実地研修を受けるなど、専門知識を身につけ、細心の注意を払い運営を行っています。

宮下 晃嗣 (みやした こうじ)

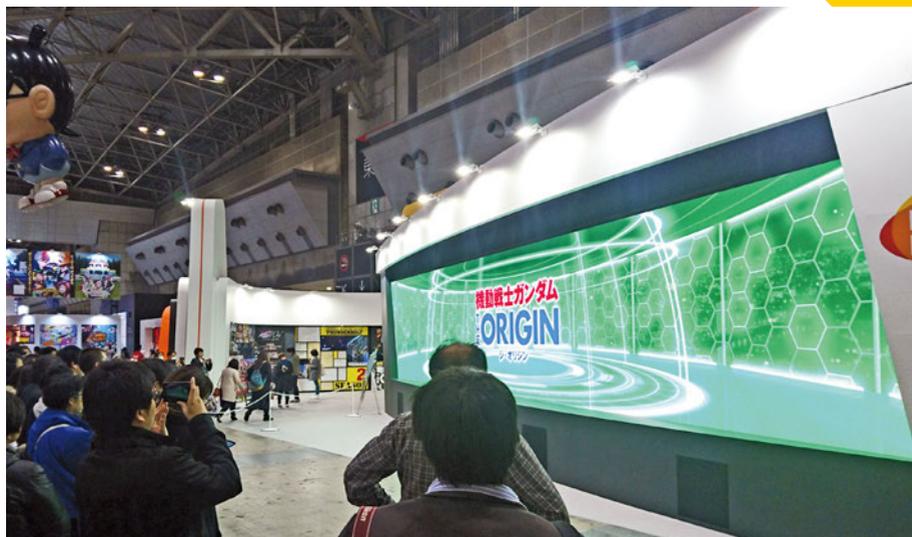
株式会社ナムコ

SPACE ATHLETIC TONDEMI 運営責任者



ライブ・イベントの安全・安心

バンダイナムコグループでは、ライブ・イベントの開催において、来場するお客様が安心してお楽しみいただけるように、安全に配慮した運営に取り組んでいます。



AnimeJapan 2017

(2017年3月25・26日、東京ビッグサイト)
バンダイナムコグループ 映像音楽プロデュースSBUブース

AnimeJapan

2014年から毎年3月下旬に行われている総合アニメーションイベント。来場者数14万人超は世界最大規模。バンダイナムコグループでは、2014年より毎年ブースを出展し、映像・音楽関連の商品・サービスを中心とした最新情報を発信しています。



危機管理マニュアル

事故の未然防止や、万が一の際に迅速に対応できるよう、ライブ・イベントの運営マニュアルの中に対策や対応方法を詳細に記載し、また事前にスタッフミーティングを行うなど関係者に周知徹底を図っています。

◀ AnimeJapan 2017 イベント運営マニュアル



セキュリティチェック

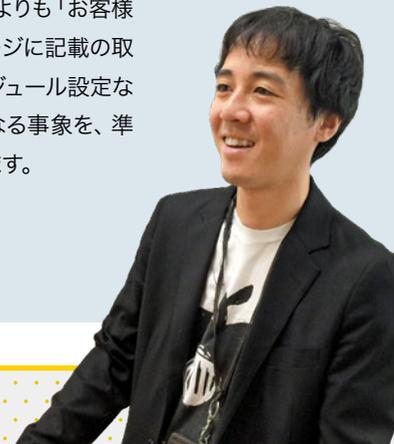
多くのお客様が来場する一部のライブやイベントでは、安全な開催に向け、手荷物検査や本人確認にご協力いただくなどのセキュリティ対策を導入しています。



VOICE 担当者の声

ライブ・イベントの開催にあたっては、何よりも「お客様の安全の確保」を優先しています。本ページに記載の取り組みのほか、導線の確保、明確なスケジュール設定など、当日お客様が混乱してしまう要因となる事象を、準備段階でいかに無くせるかを徹底しています。

廣岡 祐次 (ひろおか ゆうじ)
バンダイビジュアル株式会社
事業本部 宣伝部 植木ルーム



環境配慮製品につける「エコメダル」

「エコメダル」とは、(株)バンダイをはじめ、玩具や文具などを扱うグループ会社で2016年からスタートした新しいエコへの取り組みです。新しい製品を作るとき、これまで以上に、安心して楽しく使っていただけるように、環境への配慮をできるかぎり取り入れています。そうした工夫が、どこに、どのように取り入れられているか、分かりやすく説明するラベルをパッケージなどに表示しています。



「エコメダル」のラベル

“エコメダル”には、エコのポイントが分かりやすいように説明がついています。

エコメダルの環境配慮基準

独自の環境配慮基準に沿って、一定の基準をクリアした製品にエコメダルを与えます。

条件その1

ムダなパッケージを省く

+

条件その2

製品ごとのエコな工夫が1つ以上ある

製品本体
の工夫

パッケージ
の工夫

その他

条件を
満たすと

エコメダル製品に認定!

*「条件その2」の内容に応じて、エコな工夫についての説明がついています。



ミニプラ キュータマ合体シリーズ01 キュウレンオー



部品をつなぐランナーを細くして、組み立てた後にするプラスチックの量が20% (当社従来比) 少なくなりました。



ひとりできるもんインナーセット

パッケージの台紙にカレンダー形式のチャレンジシートを印刷したことで、台紙をすてずに再利用できます。

動物戦隊 ジュウオウジャー



魔法つかい プリキュア!



環境配慮設計「エコアミューズメント」

(株)バンダイナムコエンターテインメントでは、2012年1月に国内で販売する業務用ゲームを対象に「環境配慮設計ガイドライン」を策定しました。このガイドラインに設けられた「化学物質管理」「省エネルギー」「省資源」「リサイクルしやすい設計」という4つの基準のうち、一定レベルをクリアした製品を「エコアミューズメント」と認定しています。



エコラベル

「エコアミューズメント」に認定された製品には、「太鼓の達人」のオリジナルキャラクター「どんちゃん」をモチーフにした、「エコラベル」が表示されています。

「環境配慮設計ガイドライン」4つの基準



化学物質管理

社内のグリーン調達基準に沿った部材選定を行い、人の身体や環境に悪い影響を与えるとされる化学物質を管理している。



省エネルギー

省エネ部材を積極的に採用し、また省電力のための制御を仕様上に盛り込むなど、製品稼働にともなう消費電力の削減に取り組んでいる。



省資源

製品保護、また品質時の保全上、必要以上の梱包、包装はせず、資源を無駄遣いしない省資源のための工夫がされている。



リサイクルしやすい設計

成形部品に素材名を刻印したり、主要部品が交換しやすいような設計となっているなど、長期間の稼働、解体しやすいような製品設計に取り組んでいる。



エコアミューズメント認定製品

ミニクレ

minicle



認定のポイント

1 社内グリーン調達基準適合

2 リサイクルしやすい設計

3 省スペース、高パフォーマンス



工具なしでのパーツの取り外しを可能にし、リサイクルしやすくしているほか、照明はLEDのみを使用するなど環境に配慮した設計となっています。



エコアミューズメント認定製品

ビッグバンスマッシュスリム



認定のポイント

1 社内グリーン調達基準適合

2 リサイクルしやすい設計



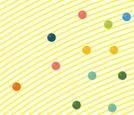
機器全体の電気供給や信号通信を行うワイヤーケーブルを分かりやすくまとめ、取り外ししやすくすることで、リサイクルしやすい設計となっています。

おもちゃのエコ「ガシャポン」

(株)バンダイでは、おもちゃの本体やパッケージ、おもちゃを作るときに必要な金型など、いろいろなものを再資源化(リサイクル)する取り組みを進めています。

ガシャポンの リサイクル

一部のお店に、ガシャポンのカプセルを収集するボックスを設置しています。集まった空カプセルは、工場でリサイクルされ、新しい材料に生まれ変わります。



収集ボックス



ガシャポンの空カプセル



バラバラに砕く

新しい
材料に!!



棒状にのばし、細かく刻む

アミューズメント施設のエコ

(株)ナムコでは、一部店舗の照明、クレーンゲーム機等のハロゲンランプ・蛍光灯をLEDランプに変換し、使用電気量の削減とともに二酸化炭素(CO₂)の排出量削減に努めるなど、設備の省エネ施策を進めています。

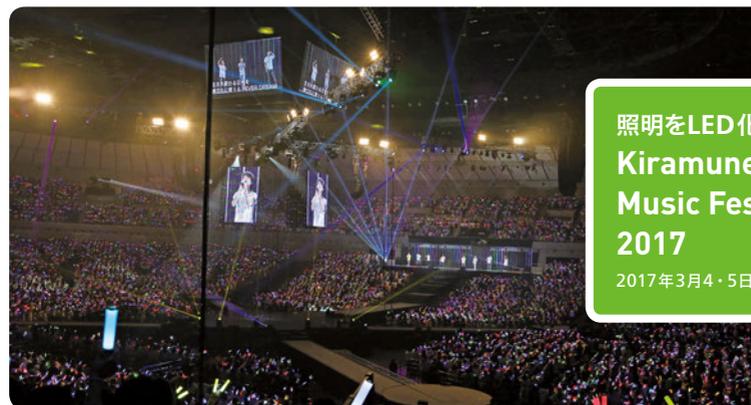


店内照明のLED化



ライブ・イベントのエコ

(株)バンダイナムコライブクリエイティブでは、ライブ・イベントの照明にLEDを積極的に利用し、省エネを図っているほか、舞台道具を再利用することで木材などの自然材料の削減に努めています。



照明をLED化したライブ
Kiramune
Music Festival
2017
2017年3月4・5日公演

人と地球にやさしい「エコドライブ」

バンダイナムコグループの物流機能を担う(株)バンダイロジパルと(株)ロジパルエクスプレスでは、「人と地球にやさしい物流」を目指し、安全や環境に配慮した取り組みを行っています。

事例 1 エコドライブ講習会

社外インストラクターによるエコドライブ運転の指導を行い、地球環境にやさしい運転技術の向上に努めています。

エコドライブとは?

エコドライブとは、やさしい発進を心がけたり、無駄なアイドリングを止めるなど、燃料の節約に努め、地球温暖化に大きな影響を与える二酸化炭素(CO₂)の排出量を減らす運転のことです。



◎ 座学での講習風景



◎ 実地での講習風景



◎ 講習終了後の様子

事例 2 エコドライブ活動コンクール

バンダイロジパルとロジパルエクスプレスは、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団主催の「平成28年度エコドライブ活動コンクール」に参加し、6営業所が優良賞を受賞しました。また、その他9営業所がエコドライブ優良活動認定書を受証し、参加した15営業所の全てが表彰されました。



◎ 導入を推進している低公害車



◎ 表彰状

VOICE 担当者の声

エコドライブ運転講習の受講後は、ドライバーの運転に効果が表れています。トラックの燃費が2003年度との対比で11%向上しており、使用燃料が削減されたほか、衝突軽減ブレーキ等、装備の変化についても学んでおり、安全運転につながっています。さらに受講したドライバーから未受講のドライバーに指導内容の情報共有を行うことで、全社でのエコドライブ推進を

心がけています。今後も日々の積み重ねにより少しでもCO₂排出量の削減につながるよう、エコドライブ運転に努めてまいります。

赤石澤 慎 (あかいしざわ まこと)
株式会社ロジパルエクスプレス
運輸事業統括部 輸送事業部 輸送課





TOPIC 1

エコプロ

バンダイナムコグループは、CSRの取り組みを伝える場として、日本最大級の環境とエネルギーの展示会「エコプロ」（主催：一般社団法人産業環境管理協会、日本経済新聞社）に出展しています。2016年度は、環境に配慮したモノづくりや安全・安心の取り組みなど、グループが取り組んでいるCSR活動について主な事業分野ごとに紹介しました。今後も、CSRコンセプト「Fun For the Future! 楽しみながら、楽しい未来へ。」のもと、地球環境や社会とのかかわりにおいて取り組んでいる活動をさまざまな場で発信していきます。



▲安全・安心に配慮した遊び場「屋内砂浜 海の子」が体験できるコーナーを設置

VOICE 担当者の声



岩村 剛 (いわむら つよし)
株式会社バンダイ
プロダクトマネジメント部
品質マネジメントチーム

バンダイナムコグループのブースでは、主に小・中学生に向けてグループのCSR活動をお伝えしています。2016年度は、子どもたちが関心を寄せやすいよう、商品の実物展示や、体験コーナーの設置などの工夫を行いました。来場した子どもたちからの質問や意見をもとに、2017年度はさらに改善を加え、スタッフ一同“伝わる”ブースづくりに努めていきたいと思っています。

TOPIC 2

ライトダウンキャンペーン

バンダイナムコグループでは、地球温暖化対策として温室効果ガス削減のため、環境省主催の「ライトダウンキャンペーン」に参加しています。2016年度も6月21日（夏至の日）と7月7日（クールアース・デー）の両日で、20時以降にビルの屋外看板やオフィス照明、一部のアミューズメント施設の照明のライトダウンを行いました。

アミューズメント施設でのライトダウン▶

母体商業施設のご理解のもと、お客様への安全面や防犯面などで支障のない範囲をライトダウンし、ゲーム機の明かりなどで運営しました。



TOPIC 3

CO₂排出量削減への取り組み

バンダイナムコグループでは、各事業分野において年度ごとにCO₂排出量の削減目標を設定し、エコに関する取り組みを通じた削減努力を行っています。2016年度のグループ全体の排出量は2011年度対比26.9%の削減となる59,043t-CO₂となりました。

バンダイナムコグループCO₂排出量

(t-CO₂)



おもちゃや文具のユニバーサルデザイン

(株)バンダイをはじめ、玩具や文具を扱う会社では、「どんな人が、どんなときに、どんなところで遊んでも」楽しく遊べる商品を作るため、ユニバーサルデザインに取り組んでいます。

ユニバーサルデザインとは？

「今あるものが、もっと多くの人に、もっと便利に使えるようにしていく」という考え方のことです。商品をもっと使いやすく、安全にするため、「今より一歩」を合言葉に、だれでも同じように楽しく使えるような商品・サービスを作るための工夫をしています。

ユニバーサルデザインの7原則

- 1 だれもが公平に使えること
- 2 使うときの自由度が高いこと
- 3 使い方が簡単で分かりやすいこと
- 4 必要な情報がすぐに分かること
- 5 もし、まちがって使っても大きな危険につながらないこと
- 6 からだへの負担が少なく、弱い力でも使えること
- 7 使いやすい大きさやスペースがあること

(出典：ロナルド・メイス「ユニバーサルデザインの7原則」)

変身ベルト DXゲーマドライバー

一度ベルトの長さを調節すれば、2回目以降は右利きでも左利きでも、横のボタン操作で簡単に取り外しができるようになっています。



ベルトを調整



取り外し(右利き)



取り外し(左利き)

アンパンマン 半袖カバーオール

1カ所だけボタンの色を変えて、ボタンのかけ違いをしないようにしています。

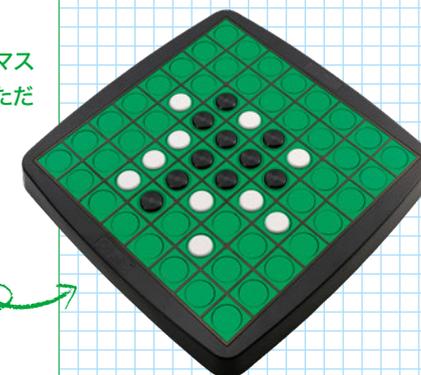


コンパクトふでいれ ヨコピタ

通常の筆入れよりサイズを少し小さくすることで、ランドセルにぴったり入れることができるようになっています。

大回転オセロ

オセロ盤の石がなくなならないように、それぞれのマスに石を内蔵しています。また、表面の模様を触ただけで黒白の色判別ができるようになっています。

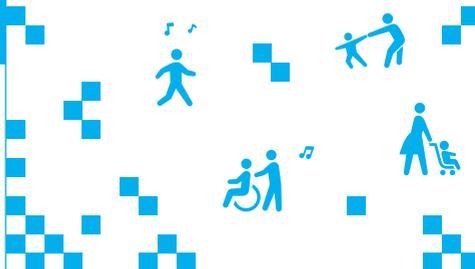


アミューズメント施設のユニバーサルデザイン

(株)ナムコが運営するアミューズメント施設では、「乳幼児からシニアの方まで、だれでも安心して遊べる空間」づくりのために、施設のレイアウトや案内表示に工夫を凝らしています。

広い主導線の確保

入口や導線を広く取ることで、ベビーカーを押したお客様や車いすのお客様でも安心して遊べるような環境を設計しています。



店内表示の工夫 (クレーンゲームの遊び方)

クレーンゲームに慣れていない方のために、「景品ゲットのポイントはココ!」といった遊び方の説明を掲示し、ゲームをプレイしやすい環境を整えています。



分かりやすい両替機

両替機がどこにあるか分かりやすくするために、柱などの目立つ場所に設置したり、電飾を施したりしています。また、お客様や外国人のお客様にも伝わるように、両替後の金種を分かりやすく図解しています。



映像コンテンツのユニバーサルデザイン

バンダイビジュアル(株)では、視覚障がいや聴覚障がいのある方にもお楽しみいただけるよう、音声ガイド(音声による解説)や、台詞の発言者や環境音が分かるような字幕の収録などの取り組みを実施しています。

視覚障がい者・聴覚障がい者に対応したパッケージ商品例 「百日紅～Miss HOKUSAI～」



*Blu-ray 特装限定版

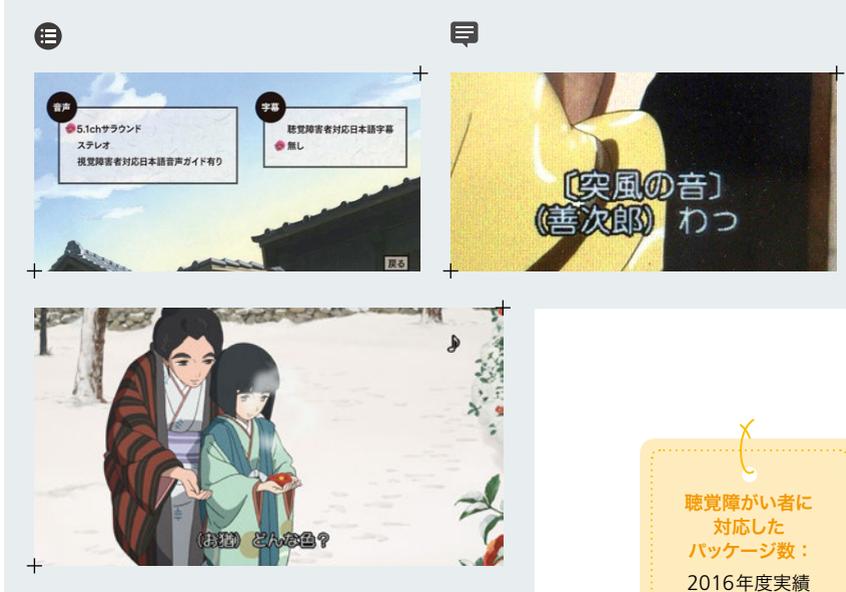
ストーリー

浮世絵師・お柴は、父であり師匠でもある葛飾北斎とともに絵を描いて暮らしている。雑然とした家に集う善次郎や国直と騒いだり、犬と寝転んだり、離れて暮らす妹・お猶(なお)と出かけたりしながら絵師としての人生を謳歌している。

今日も江戸は、両国橋や吉原、火事、妖怪騒ぎ、など喜怒哀楽に満ち溢れている。恋に不器用なお柴は、絵に色気がないと言われ落ちこむが、絵を描くことはあきらめない。そして、百日紅が咲く季節が再びやってくる、嵐の予感とともに……。

江戸の四季を通して自由闊達に生きる人々を描く、浮世エンターテインメント!時を超えて現代へ紡がれる人生賛歌の傑作です。

音声・字幕ガイド例



聴覚障がい者に対応した
パッケージ数:
2016年度実績

5タイトル

VOICE 担当者の声

「百日紅～Miss HOKUSAI～」の音声ガイドや字幕は、実際に視覚障がいや聴覚障がいのある方からご意見をいただき、制作を進めました。例えば、目の見えない登場人物「お猶」が両国橋で聞こえる音に耳を澄ませるシーンでは、どれだけの情報が必要なのか、どれだけの情報があれば十分なのか、いただいたご意見を商品に取り入れています。

尾崎 亮太 (おざき りょうた)
バンダイビジュアル株式会社
事業本部 プロデュース2部 仲吉ルーム



「こどもエコクラブ」と連携した環境学習活動

バンダイナムコグループは、2015年度より子どもたちが自主的に環境活動や環境学習を行う「こどもエコクラブ」のパートナーとなり、各種活動への協賛を行っています。また、環境学習の場としてグループ社員とその家族も活動に参加しています。

「こどもエコクラブ」とは？

公益財団法人日本環境協会が、環境省の後援および文部科学省の支援のもと、地方自治体や企業・団体と連携を図りながら、子どもたちの環境活動を支援する事業で、全国約2,000クラブ、約11万人が会員となっています。(2017年3月現在)

出前授業プログラム

次世代教育の一環として、「おもちゃ」や「ゲーム」を題材に、「エコ」や「ユニバーサルデザイン」、「安全・安心」について、小学校を中心に社員が出前授業を行っています。



2016年度活動事例

1 涸沼環境学習会

茨城県東茨城郡にある涸沼にて行われた「ラムサール条約に登録されている涸沼での環境学習会*」にグループ社員とその家族約30名が参加し、生息する動植物の観察・学習を行いました。

* 茨城県水戸市を拠点とする「逆川こどもエコクラブ」主催



絶滅危惧種
「ヒヌマイトトンボ」を
観察

森林保全について 学習

2 森のきこり体験

神奈川県足柄上郡大井町の森林にて行われた「森の木こり体験*」では、報徳楽校・地元炭焼き会の協力のもとグループ社員とその家族約30名が枝打ち体験を行いました。

* 神奈川県小田原市を拠点とする「報徳楽校」主催



リサイクル材を使った
「カプセルはんこ作り」
の体験



2016年度活動事例

1 おもちゃの出前授業

(株)バンダイでは、子どもたちにとって身近な存在である、「おもちゃ」をテーマにしたエコやユニバーサルデザイン、安全・安心への取り組みについて学ぶ出前授業を実施しました。



クイズや実験を取り入れた
参加型授業を実施

2 ゲームの出前授業

(株)バンダイナムコエンターテインメントでは、製品を安全に使用していただくことを目的に、都内の小学生を対象に「取扱説明書の重要性」をテーマとした出前授業を実施しました。



社会貢献活動

バンダイナムコグループの被災地支援活動

東日本大震災（2011年3月発生）や熊本地震（2016年4月発生）における被災地の子どもたちに向け、バンダイナムコグループならではの支援活動を行っています。

東日本大震災被災地支援

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンと連携した活動

バンダイナムコグループでは、公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンとの連携のもと、グループ社員が講師を務めるワークショップ活動を継続して行っています。

2016年度は、岩手県山田町、宮城県石巻市、福島県相馬市で、約170名の子どもたちと工作教室などを行いました。



岩手県山田町 「ジャッキーの工作教室」

岩手県下閉伊郡山田町の山田町ふれあいセンターで、絵本「くまのがっこう」をモチーフにした壁掛けづくりなどを行いました。



宮城県石巻市 「ジャッキーのクリスマスリースづくり」

宮城県石巻市の石巻子どもセンターで、絵本「くまのがっこう」をモチーフにしたクリスマスリースづくりを行いました。



福島県相馬市 「プラモデル教室」

福島県相馬市の相馬市中央児童センターで、小学生を対象としたプラモデル教室を開催しました。

熊本地震被災地支援



イベントの様子

カプセルはんこ工作

熊本県西原村（2016年8月開催）と益城町（2016年10月開催）において、小学生を対象としたカプセルはんこ工作のイベントを開催しました。

チャリティーコンサート

TOYBOX 2017

佐世保ミュージックフェスティバル
～九州大震災熊本応援チャリティー野外イベント～
（株）ハイウェイスター所属のアーティストらが参加したチャリティーコンサート（2017年5月開催）では、入場を無料とし、会場に募金箱を設けて支援を呼びかけました。



TOPIC

営業再開後の様子 →

熊本地震により、（株）ナムコの6店舗も被害を受け営業を停止しました。これらの店舗は物流事業を行っている（株）バンダイロジバル、（株）ロジバルエクスプレスと協力し、店舗間の連携を図ることで、営業可能な全店舗で早期の復旧を図りました。営業再開後は仮面ライダーエグゼイドのショーを誘致するなど、お客様の笑顔のため、おもてなしの心で、被災地域を元気にすることを目指した活動を行っています。



（株）ナムコ：namcoワンダーシティ南熊本店のスタッフ



（株）ロジバルエクスプレス：熊本営業所のスタッフ

会社概要 (2017年3月31日現在)

- + 社名
株式会社バンダイナムコホールディングス
- + 本店所在地
〒108-0014
東京都港区芝5-37-8
バンダイナムコ未来研究所
- + 資本金
100億円
- + 事業内容
 - バンダイナムコグループの中長期経営戦略の立案・遂行
 - グループ会社の事業戦略実行支援・事業活動の管理
- + グループ社員数
7,561名
- + 連結対象会社数
子会社70社
持分法適用会社5社

編集方針

「Fun For the Future! バンダイナムコグループのCSR活動 2017」(本冊子)はグループ全体のCSR(社会的責任)に関する具体的な取り組みの事例を、ステークホルダーの皆様に分かりやすく報告することを目的に発行しています。「バンダイナムコグループのCSR重要項目」をもとに各戦略ビジネスユニット(SBU)で策定している取り組みとその活動報告、より詳細な情報に

つきましては、当社公式ホームページでご確認いただけます。

対象期間

2016年度(2016年4月1日～2017年3月31日)

対象範囲

持分法適用会社を除く連結対象会社

グループ組織体制

戦略ビジネスユニット(SBU)



バンダイナムコホールディングス

トイホビー SBU
(主幹会社：(株)バンダイ)

- + 玩具、模型、カプセルトイ、カード、菓子・食品、アパレル、生活用品、景品、文具などの企画・開発・製造・販売

ネットワークエンターテインメント SBU
(主幹会社：(株)バンダイナムコエンターテインメント)

- + ネットワークコンテンツの企画・開発・配信、家庭用ゲーム、業務用ゲームなどの企画・開発・販売、アミューズメント施設などの企画・運営

映像音楽プロデュース SBU
(主幹会社：バンダイビジュアル(株))

- + アニメーションの企画・製作・プロデュース、映像・音楽ソフトの企画・制作・販売、オンデマンド映像の配信、ライブエンターテインメント事業

関連事業会社

- + 流通・物流、印刷、管理業務など各SBUをサポートする事業

くまのがっこう

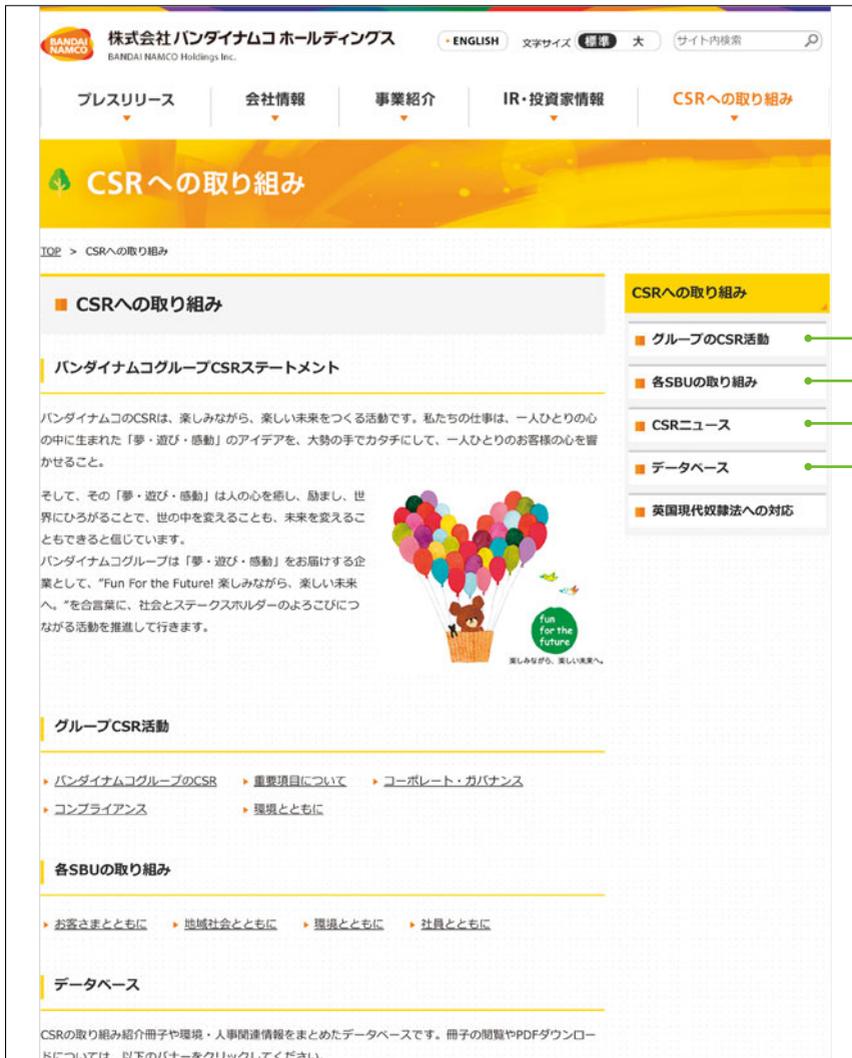
バンダイナムコグループの(株)キャラ研が手がける人気絵本シリーズ「くまのがっこう」は、女の子くまジャッキーと11匹のおにいちゃんくまが繰り広げる日常を描いた物語です。“何気ない一日の幸せ”を大切にしたいが、私たちのCSR活動と重なり、ジャッキーをイメージキャラクターとして、CSRコンセプト「Fun For the Future! 楽しみながら、楽しい未来へ。」を広くアピールしています。



バンダイナムコグループのCSR活動2017 WEB版のご案内

バンダイナムコグループでは、本冊子の報告内容に加えて、社会・環境の側面に関する具体的な取り組みについてホームページ上で詳しく報告しています。

WEB版 <http://www.bandainamco.co.jp/social/index.html>



グループのCSR活動

バンダイナムコグループのCSR活動に対する考え方や推進体制などをご覧いただけます。

- + バンダイナムコグループのCSR
- + 重要項目について
- + コーポレート・ガバナンス
- + コンプライアンス
- + 環境とともに

各SBUの取り組み

以下のテーマに沿った、各SBU・事業会社ごとのCSR活動をご覧いただけます。

- + お客様とともに
- + 地域社会とともに
- + 環境とともに
- + 社員とともに

CSRニュース

最新のCSRニュースをご覧いただけます。

データベース

CSRの取り組み紹介冊子や環境・人事関連情報をまとめたデータベースをご覧いただけます。

